

# 島根県における実動訓練の概要

## 1 実施日時

平成19年11月2日（金）6：50～14：30

## 2 訓練実施場所

島根県庁、松江市役所、島根県原子力オフサイトセンター、松江市玉湯体育館、島根県消防学校、総理大臣官邸

## 3 想定

中国電力(株)島根原子力発電所が国籍不明のテログループによる攻撃を受け、多数の死傷者が発生した。一方で、原子力発電所の停止後、施設の一部が故障したことにより、放射性物質の放出に至る事態となった。

## 4 主な訓練項目

- (1) 島根県及び松江市緊急対処事態対策本部等の設置・運営訓練
- (2) 緊急対処事態発生時における島根県及び松江市の初動措置（情報収集・報告・伝達、各機関との連携）訓練
- (3) 事態認定以降の島根県及び松江市対策本部における情報収集、状況判断、意思決定及び緊急対処保護措置を行う上で必要な対処訓練
- (4) 住民避難訓練（実動訓練）
- (5) 島根県対策本部から関係機関等への情報伝達訓練

## 5 参加機関

内閣官房、消防庁、文部科学省、原子力安全・保安院、陸上自衛隊、原子力安全委員会、中国経済産業局、第八管区海上保安本部、島根県、島根県警察本部、松江市、松江市消防本部及び消防団、中国電力株式会社、日本赤十字社島根県支部、西日本電信電話株式会社、一畑バス株式会社、日ノ丸自動車株式会社、県内市町村（※情報伝達訓練に参加）、指定地方公共機関（※情報伝達訓練に参加）

※訓練参加人員1,180名

参加住民323名



政府現地対策本部における検討



政府、県、関係機関等による合同対策協議会



海上保安庁による海上避難誘導



避難所におけるスクリーニング